



写真：復元建物 正殿

- ① 袷 (うちぎ)
- ② 重要文化財 緑釉陶器 陰刻花文縁椀
- ③ 重要文化財 鳥形・羊形碗
- ④ 重要文化財 緑釉陶器 大壺

# 三重にしかない歴史遺産 国史跡「齋宮跡」

平成27年4月、文化庁「日本遺産」に、三重県多気郡明和町が申請した「祈る皇女齋王のみやこ齋宮」が認定されました。齋宮とは、平安時代に「齋王」と呼ばれる伊勢神宮に仕えた皇女の宮殿と齋宮寮という役所があった大きな地方都市で、大宰府に次ぐ規模であったと考えられています。

県は、発掘調査だけでなく、齋宮跡を守り、活用していくため、史跡整備にも力を入れてきました。そして今月、平安時代の齋宮を体感できるよう齋宮跡の一区画に復元建物や区画道路を再現した史跡公園「さいくう平安の杜」がオープンします。現代によみがえった「齋宮」にお越しください。

## 遂にオープン！ 史跡公園「さいくう平安の杜」

1970年から始まった発掘調査で、長い間「幻の宮」と呼ばれていた齋宮が、再びその姿を現しました。1979年には、東西約2キロ、南北約700メートル、面積約137ヘクタール（阪神甲子園球場約35個分）が国の史跡に指定されました。



平安時代の齋宮は、約120メートル四方の区画が碁盤目状に並び、最盛期には東西7列・南北4列の区画に建物が整然と立ち並んでいました。

史跡公園「さいくう平安の杜」では、そのうちの一区画を平安時代の齋宮が体感できるように、齋宮の中心的な建物や区画道路を発掘調査で見つ

かった場所そのままに、地下の遺構を保護しながら、再現しています。

復元建物は、正殿（長官が儀式などを行うシンボリックな建物）・西脇殿（儀式やもてなしを行う建物）・東脇殿（儀礼の参加者が待機する建物）の3棟で、屋根の檜皮葺や伝統的な木造工法などを駆使して、実物大で復元しました。

区画道路は、幅が約15メートルもあり、この大きな道路が縦横に敷設され、その内側に役所の建物や齋王の宮殿が立ち並んでいました。なお、復元された区画道路の北側には正殿が、南側には齋王の宮殿（現在、竹神社が鎮座する場所）にありました。

## 齋宮物語

### 「幻の宮」の再発見

齋宮駅の北に「齋王の森」と呼ばれる鎮守の森があります。この場所に「齋王の御殿があった」という言い伝えが残っていました。

齋王とは、天皇に代わって伊勢神宮に仕えるために、都から伊勢に遣わされた女性で、天皇の代替わりごとに未婚の内親王あるいは女王の中から選ばれました。その齋王の宮殿とそのための役所があった場所が、齋宮またはいつきのみやと呼ばれています。そして1970年に行われた発掘調査で、どこにあったか分からないことから「幻の宮」とも呼ばれた「齋宮」が発見されたのです。



### 齋王と齋宮

齋王の制度が確立したのは7世紀後半とされ、670年頃の天武天皇の娘である大来皇女が最初の齋王と考えられており、1330年頃の後醍醐天皇の時代まで約660年間続き、その間に60人余りの齋王の名が残されています。

齋王のもとでは齋宮寮を運営する官人や齋王に仕える女官など500人以上の人びとが起居していました。齋王として選ばれた後約2年後の9月、伊勢神宮の神嘗祭に合わせて齋宮へ旅立ちます。出発の日には「別れの櫛」という儀式が行われます。天皇が「都の方におもむきたもうな」と声をかけながら、齋王の額に櫛をさし、伊勢神宮へ送り出したといわれます。

齋宮は、当時の地方都市としては大宰府に次ぐ規模で、碁盤目状に道路が走り、檜皮葺や板葺の建物が100棟以上立ち並ぶ整然とした都市だったようです。齋王は、この齋宮で、伊勢神宮の祭祀のほか、祈りをささげる日々を送っていました。

このような齋王制度は14世紀後半になくなってしまいましたが、齋宮という名は地名として残りました。現在はのどかな風景が広がり、いにしへの都は地下に眠っています。



## 竣工式&観月会(9月26日)

9月26日(土)には、齋宮跡復元建物竣工式といつきのみや観月会が行われました。

### 古典群読の様子



式典のほか、古典群読や伊勢大神楽などが行われました。

### ろうそくの灯りの中に浮かぶ復元建物



15回目の開催となった、いつきのみや観月会。今回は3千本のろうそくの灯りの中で、長岡成真さんによる復元建物竣工記念コンサート「祈りを捧げた皇女たちの物語〜2015」などが行われました。

## さいくう平安の杜フェスタ 齋宮の真ん中で歴史体験

10月24日(土) 25日(日) 時間 10:00~15:00 会場 さいくう平安の杜

### 24日(土)

歴史体験サミット (ものづくりなどの体験)  
齋王登場&齋王の舞  
箏の演奏会  
『古事記』一人語り  
紙芝居 など



齋王の舞

### 25日(日)

平安こども広場 (昔の遊び体験)  
ユーめい姫ドリーム!ダンス  
人形劇  
口笛コンサート  
ハープ&フルートの演奏会  
ミニ四駆レース など



明和町  
めい姫

## 特別展 よみがえる齋宮

齋宮の復元建物に親しんでいただくだけでなく、当時の齋宮寮の官人たちの活動について詳しく紹介。



### 開催中

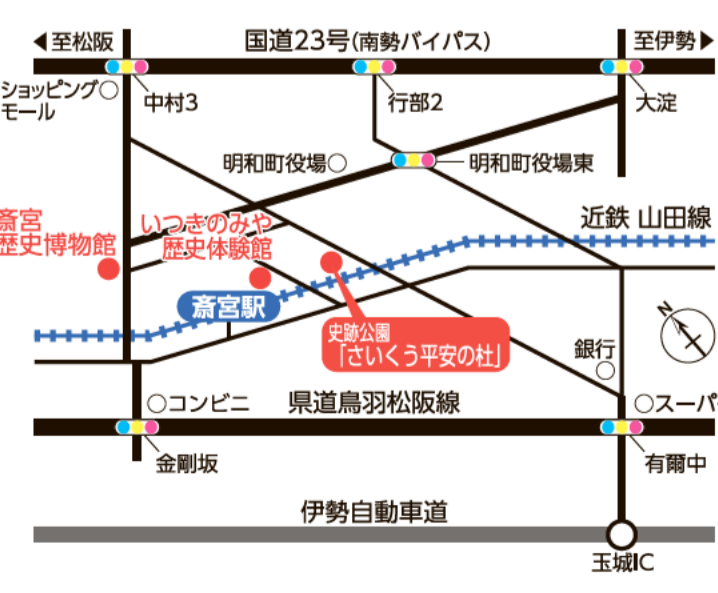
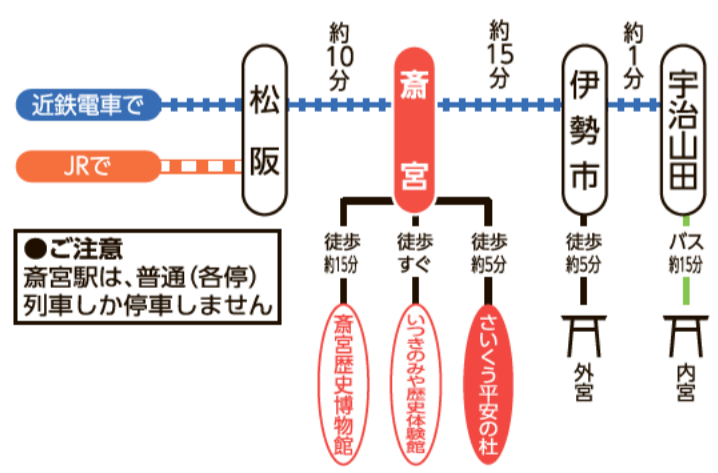
9月26日(土)~11月8日(日) (10月26日(月)、11月2日(月)は休館)

【開館時間】9時30分~17時 (入館は16時30分まで)

【場 所】齋宮歴史博物館 特別展示室

【観 覧 料】一般 400円 (320円) 大学生 260円 (200円) 高校生以下は無料  
※( )は団体料金 (20名以上)  
常設展とのセット料金 一般個人 700円 大学生個人 450円

## 齋宮へのアクセス



問い合わせ先



日本遺産  
祈る皇女齋王のみやこ 齋宮  
齋宮歴史博物館

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503  
TEL 0596-52-3800(代) FAX 0596-52-3724  
E-mail saiku@pref.mie.jp URL http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/saiku/

齋宮歴史博物館

検索